

表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作品名	壬生町庁舎	
所在地	下都賀郡壬生町壬生甲 3841-1	
用途	庁舎	
建物概要	構造：RC造、PCaPC造	敷地面積：21,663.40 m ²
	階数：地上3階	延べ面積：7,678.59 m ²
建築主	栃木県下都賀郡壬生町壬生甲 3841-1 壬生町	
設計者	東京都大田区羽田旭町 10-11 MFIP 羽田 3F 株式会社梓設計	
施工者	栃木県日光市大桑町 138 東武・佐藤特定建設工事共同企業体	

講評

県央南部に位置する人口4万人ほどの町の中央部に移転・新築した庁舎である。ゆとりのある敷地を活かして、低層に抑えて伸びやかに配置している。町民が最も利用する窓口業務を1階に集約した町民ロビーは、柱のない60m×18mのワンルームの大空間となっていてアクセスのしやすさを担保しており、このスパンを確保するためPCaPCによる梁が採用され、柔らかな光による演出によりリズムカルな心地よさを空間に与えている。2階には、1階の執務空間や町民ロビーを見渡せる災害対策本部のスペースを設けていたり、3階の議場には県産檜や杉が用いているなど、特徴的な空間づくりがなされている。環境配慮対応においては、町民ロビーの吹き抜け部分に自然換気を可能とする窓の設置や、床吹き出し方式の空調の採用に加え、南外壁面の構造アウトフレームによる日射負荷抑制をするデザインの採用は特筆すべき点である。「町のリビング」とされたコンセプト通り、町民の交流の場としてどのように活用されていくのか、今後が注目される。全体として、これからの時代の庁舎として、様々な観点に配慮が行き届いた建物になっており評価された。

